

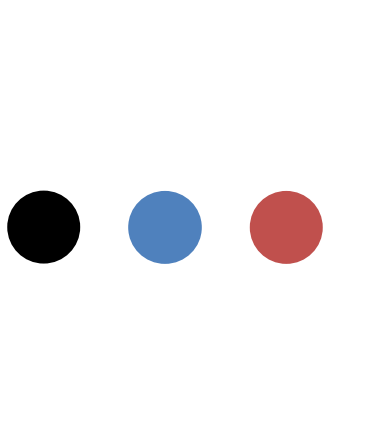
医学教育質保証制度確立 に向けての経緯と計画



東京医科歯科大学
医歯学教育システム
研究センター長

奈良 信雄

(全国医学部長病院長
会議:医学教育の質保
証検討委員会委員長)



1. 国際基準に基づく医学 教育質保証制度確立に向 けたこれまでの取り組み

Center for Education Research in
Medicine and Dentistry

大学機関別認証評価

- 2002年の学校教育法改正に伴い、2004年度以降、わが国の大学は、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価を7年以内の周期で受けることが義務化（認証評価制度）。
 - 大学基準協会（JUAA）
 - 大学評価・学位授与機構（NIAD-UE）
 - 高等教育評価機構（JIHEE）

分野別質保証の必要性

- 機関別評価 vs 分野別プログラム評価
- 分野別認証評価
 - ✓ 日本技術者教育認定機構(JABEE)
 - ✓ 法科大学院認証評価
 - ✓ 薬学教育評価機構(JABPE)
 - ✓ 医学分野では・・・??

医学教育認証評価制度 立ち上げの発端



ECFMGの宣言(2010年9月):

2023年からアメリカ医学校協会
(**AAMC**)のLiaison Committee
on Medical Education (**LCME**)、
World Federation for Medical
Education (**WFME**)の基準、
または相当する国際基準に認定されていない医
学部からの卒業生にECFMG申請を認めない。



国際的に認知されるための必要条件

○ 公式な認証評価組織の設立

政府and/or全医学部に認知されること

・・・日本医学教育評価機構

Japan Accreditation Council for
Medical Education (JACME)

○ 国際基準に基づく評価基準の策定

・・・WFME、LCME等の国際基準に
準拠していること

医学教育分野別認証制度の確立に向けた経緯と計画

H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30

組織編成:

全国医学部長病院長会議
医学教育質保証検討委員会



調査研究:

文科省大学改革推進事業



実施運営: 日本医学教育評価機構 (JACME)



ECFMG通告

JACMEの活動目標

- **国際基準に準じて医学教育の分野別評価**を行う。2023年までに全医学部を対象に少なくとも1回は分野別評価を実施する。
- 2012年東京女子医大でのパイロット国際外部評価に続き、2013年度に新潟大学、東京医科歯科大学で、2014年度に東京慈恵医大、千葉大、東大でトライアル評価を実施。2015年度以降は全医学部へ拡大させる。
- 2023年ECFMGの新制度に対応するのは勿論であるが、**国際化に対応した医学教育の質向上**を目指す。

これまでの活動実績

- **医学教育分野別評価確立に向けた検討**
委員会開催(毎年数回):
医学教育質保証検討委員会
文科省GP連携校委員会
評価基準の策定
評価者養成ワークショップ開催(毎年1回)

- **トライアル評価**

2013年12月16日～20日新潟大学医学部

2014年1月20日～24日東京医科歯科大学医学部

2014年6月2日～6日東京慈恵会医科大学医学部

2014年6月30日～7月4日千葉大学医学部

2015年2月16日～20日東京大学医学部

医学教育分野別認証の基準

- **国際基準に則る!!**
- **WFMEのGlobal Standards**
 - ・・2003年に制定され、2012年に改訂された現在唯一の医学分野別認証の国際基準
- WFMEの2012年版をわが国の実状に合わせた基準を策定し、これを用いて認証評価を行う。
(<http://jsme.umin.ac.jp/>)



Basic Medical Education: Japanese Specifications
WFME Global Standards for Quality Improvement

医学教育分野別評価基準日本版

世界医学教育連盟(WFME)グローバルスタンダード2012年版準拠

世界医学教育連盟 (WFME) グローバルスタンダード

9 領域	36 下位領域	基本的水準 質的向上のための水準	注釈 日本版注釈
------	---------	---------------------	-------------

1. 医科大学の使命と教育成果 (アウトカム)
2. 教育プログラム
3. 学生評価
4. 学生
5. 教員
6. 教育資源
7. プログラム/カリキュラム評価
8. 統括および管理運営
9. 継続的改良



2. 受審に向けて:

医学教育分野別評価
受審準備

Center for Education Research in
Medicine and Dentistry

分野別評価のステップ

自己点検評価による内部質保証



(受審医学部)

自己点検評価の精査 (評価委員)



実地調査(評価委員)



フィードバック



受審医学部で改善策

まずは受審体制を

- 受審の決定：医学部全教職員の総意
- 自己点検評価書の作成
 - 評価基準Area1～9の全項目を自己点検
- 委員会の発足：受審約2年前
 - 委員会構成：各領域毎に担当教員＋職員
 - 教職員はデータを集め、解析し、自己点検。
 - 委員会は1／月ほど開催し、それぞれの評価を点検、全体のバランスをとる。
- 自己点検書の印刷
- 評価委員に郵送：実地調査の約24週前

自己点検内容

基本的水準／質的向上のための水準

A 水準に関する情報

現状説明とそれを裏付ける根拠資料

B 水準に対する現状分析

根拠資料に基づいた現状分析

優れた点・特徴と改善点

C 現状への対応

優れる点・特徴を伸ばすために現在行われている活動

改善すべき点について現在行われている活動

D 改善に向けた計画

優れた点・特徴、改善点を踏まえた中・長期の行動計画

受審大学が当日までに準備すべき資料・情報

➤ 根拠となる資料: 受審大学が選択

➤ 必須資料:

- 大学・医学部概要、シラバス、学生便覧、実習ノート(ログブック)、実習書、評価票
- 学則・学校法人の組織図、教学関係の組織図、事務組織の組織図
- 学生数、教員数などのデータ、学生支援組織図(カウンセリングを含む)、教育関係委員会規程、内規
- 学則、規程・内規、教育関連病院、分野別評価で評価される教務委員会等の委員会議事録
- 教養教育の内容がわかるもの。

評価委員による自己点検評価書の確認

- 自己点検書の事前チェック(JACME事務職員)
形式の確認:24週前
資料の過不足の確認:24週前
- 再提出 20週前
- 評価委員に送付 18週前
- 評価者による検証、評価委員による評価報告書
(素案)作成 12週前
- 評価者会議 10週前
- 質問書作成・受審校へ送付 8週前
- 受審校からJACMEへ回答送付 3週前



3. 実地調査



CERMed

Center for Education Research in
Medicine and Dentistry

実地視察調査

- JACME委員を中心に、約6名の評価委員が医学部を視察調査する。
- 日程：
 - 月曜日午後：委員が集合、調査方針討議
 - 火～木曜日：医学部関係者と討議（自己点検評価報告書の確認、質疑）、学生・教員・研修医等インタビュー、講義・実習、施設等視察
 - 金曜日午前：評価委員が報告書作成、
医学部教職員を集めて講評
- 報告書を医学部に送付
- 医学部からの応答を経て、最終報告書作成、公開

実地調査スケジュール(例)

		1/20(月)	1/21(火)	1/22(水)	1/23(木)	1/24(金)
9:00			開 場	開 場	開 場	開 場
10:00		評価委員会委員と外部評価委員との打合せ	図書館見学	Area7受審	外部評価者による打合せ	
	スキルスラボ見学					
11:00	事前審査の回答確認	設 営	開会式	臨床実習視察	講義視察4	
			Area1受審	Area3受審	講義視察2 講義視察3	外部評価者による打合せ
12:00			Area4受審	Area8受審 Area9受審	講評・閉会式	
13:00		昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	
14:00	設 営	面 談1 (研修医)	Area5受審	面 談3 (教 員)	外部評価者による打合せ	
15:00		Area2受審	講義視察1	実習視察1 実習視察2		
16:00	面 談2 (若手教員)		面 談4 (大学院生)			
17:00	外部評価委員による事前審査の回答確認	Area6受審	視 研 察 究 1 室	視 研 察 究 2 室	面 談5 (学部学生)	

視察・見学

- 図書館
- スキルスラボ
- 講義 患者参加型、TBL、グローバル
- 臨床実習 循環器内科、呼吸器内科、心臓外科、ER
- 基礎実習 病理実習、医動物実習
- 研究室

面談

- 学部学生 3グループ
- 研修医 3グループ(本学+他学出身)
- 大学院生 2グループ(本学+他学出身)
- 若手教員 3グループ(本学+他学出身)
- 教育委員会委員

実地調査に当たっての準備

➤ 実地調査の準備

日程表の作成(あらかじめ評価委員と相談)

会議室確保(討論、面接、評価委員会議用)

会議が円滑に進むように適切な部屋を

出席者の手配、連絡

自己点検評価書、資料集等の準備

講義、実習室、病棟、外来等視察箇所の確保

面接者の選択、連絡



4. 調査報告



CERMed

Center for Education Research in
Medicine and Dentistry

報告書

- ✓ area毎の評価報告書・評定(案)
実地調査金曜日午後～1週間後
- ✓ 評価委員会
評価報告書(案)作成 4週間後
適・不適の確認 4週間後
- ✓ 総合評価委員会で案の承認 6週間後
- ✓ 受審大学へ通知、意見申し立て 7週間後
- ✓ 意見申し立て締め切り 11週間後
- ✓ 意見申し立ての検討(総合評価委員会)12週間後
- ✓ 評価報告書の確定 16週間後
- ✓ 理事会で審議、理事長の承認 18週間後
- ✓ 受審大学へ通知、公表 19週間後

報告書の概要

○ Area毎に

良い点: 各医学部で優れた点、特色ある取り組み等……他医学部の参考になる。

改善を要する点: 国際基準からみて必ずしも適格でないので、改善した方が良い……

提言／助言: 各医学部は報告書に基づき、改善計画を提示。

○ 評価、改善計画、進捗状況はJACMEのHPで公開する。

判定と認証評価サイクル

➤ 判定

完全認証

条件付き認証

保留

不認証

➤ 認証評価サイクル

完全認証は7年毎（機関別認証の中間時期）

条件付き認証、保留、不認証はより短期間内で再評価



5. 今後の計画

CERMed

Center for Education Research in
Medicine and Dentistry

平成27年度以降の計画

- 平成27～28年度 医学教育分野別評価試行
- 平成27年度 JACME設立へ向けての準備
- 平成27年秋 JACME発足
- 平成28年度
 - ・世界医学教育連盟WFMEによる認定
- 平成29年度
 - ・認証校を順次FAIMERに登録
 - ・JACMEによる分野別評価本格実施

ま と め

- 医学教育分野別認証評価は、決してECFMGの要件適否だけを目的としたものではない。
- 自己点検評価、第3者評価によって自学の教育プログラムを見直し、改善することで教育の質を保証する。もって社会から信頼を得る。

……PDCAの一環

- 自己点検には、教育にかかるすべての教職員が参加してデータを集め、解析し、評価する。学生、研修医、教員等の意見も反映する。
- 認証評価は単発でなく、継続的な改良が重要。
……このためにはIRの活動が欠かせない

ご静聴有り難うございました!!

